

中国での波紋—「嗚呼 満蒙開拓団」—

日本国内だけではなく、その反響が中国でも
広がり始めていることを示す1通の手紙

尊敬する羽田澄子さま

「爆竹鳴って古い年が去り、正月の飾りで新春を迎える」中国の伝統的な祝日の春節を迎えるにあたり、あなたとご家族が、寅年に楽しく健康で望むようにおめでたいことがありますよう、お祈りいたします。

私たちの会に対して気にかけていただき、支えていただきましたことに感謝し、新しい年もまた私たちの仕事に対して、どうぞ変わらぬご指導とご助力をお願い申し上げます。

昨年、私は日本の友人たちからいただいた資料で、あなたが撮られた「嗚呼 満蒙開拓団」が、日本で公開されるやすごい反響を巻き起こし、各界から好評を得たことを知りました。このことについて私は日本残留孤児養父母懇親会を代表し、熱烈なお祝いを申し上げます。同時に、この中で私たちの会の名前を出していただき、私たちの会の知名度を高めていただいたことに対し、ここで衷心より感謝申し上げます。

あなたの作品を通して、人々に過去の歴史に対する理解を深めさせ、わけても若い世代に対して大変重要な現実的な意義がありましたし、世界の平和を呼びかけ、中日の各世代の友好に、きわめて大きな推進作用をもたらすものであります。

ここまで書いてきて私は方正で2度、あなたとお会いした時の、忘れがたいシーンを思い起こします。あなたの仕事に対する厳しく、敬虔な精神と仕事に対する厳しい態度は私に深い印象を与えました。これはこれからの私たちの仕事に対する態度のモデルであると考えています。

私は「嗚呼 満蒙開拓団」が日本と中国で共に重要な歴史的、現実的意義を持つものであることはもちろんですが、さらに私は中国の関係する学者がこの映画を研究し、この作品をさらに多くの中国人に知らせてもらいたいと思うのです。そのために私たち養父母懇親会でも、この作品のDVDもしくはビデオを1本いただきたいのです。もしもあなたの同意をいただけるなら、私たちは慎重にこの作品を学習、研究し、著作権問題については十分考慮し、絶対に商業用途には使いません。

今年の1月と2月初め、日本の朝日新聞と中国黒龍江テレビが方正県とハルピンの日本の残留孤児の養父母取材しました。この時養父母たちの、心からの話を聞いて、私はあらためて感動しました。私は取材者に深々と頭を下げ、かれらが計り知れないほど徳のあることをやってくれたことに感謝しました。かれらが、間もなく「歴史」となってしまう歴史を掘り出してくれたからです。

ご参考までに養父母懇親会の関係資料を同封します。ご叱正ください。

ハルピンでの再会を期待しております。

早々

中国ハルピン市日本残留孤児養父母懇親会
秘書長 石金楷 (奥村正雄訳)